



こたけ

議会だより

第243号
令和5年3月1日
(2023年)

■発行 小竹町議会
福岡県鞍手郡小竹町
TEL 0949-62-1967
FAX 0949-62-1240
■編集 議会広報編集委員会
■印刷 マツオ印刷株式会社

小竹町議会 吉野 欽也 議長



南小学校



こども園



南小学校5年生と、こども園年長の交流会



もくじ

- ◆主な議案 2
- ◆令和4年度補正予算 2
- ◆一般質問 3

12月定例会

(令和4年12月27日~令和5年1月16日 21日間)

小竹町議会議長に吉野欽也議員が選任されました。

南小学校5年生の児童と、4月から入学してくる小竹こども園の年長さんとの交流会が行われました。

12月定例会の主な議案

12月定例会は、12月27日から1月16日まで、会期21日間の日程で開かれた。

主な議案

小竹町職員の定年年齢引き上げと60歳役職定年のための条例が可決

地方公務員法の一部改正に伴い、小竹町職員の定年を現在の60歳から段階的に65歳まで引き上げられ、60歳を迎えた年の次の4月1日に管理職だった職員は非管理職となります。

小竹町職員の給与及び賞与の引き上げのための条例が可決

人事院勧告に基づき、小竹町職員の給与は国家公務員と同様に若年層職員の給与が引き上げられました。また、夏と冬の賞与を同額に調整し、賞与の額が引き上げられました。

予算委員会の主な質疑

問 じん芥処理施設組合の固形燃料を令和5年4月より、宇部市へ搬送されるが、現在までにどのような取り

組みが行われ、今後どのような形で進めていくか。

答 現在利用の大牟田リサイクル発電所が閉鎖するにあたり、次の受け入れ先として、UBE三菱セメント(株)へ決まった。

今後、施設の老朽化に伴う新施設設計画が必要となってくる。

脱炭素社会への切り替え、循環型社会を考慮した施設を考えている。

問 昨年七福団地公募で上限額は14億5000万円で公募した。

今回の*債務負担2億5000万円を加えると、公募で設定した上限額を超える。原因は何か。

答 土木部門で21%、建築部門で28%の資材高騰が起きている。

資材ごとに積算するのは難しいので、物価の上昇率、資材の上昇率をもって予算枠を確保した。

問 今後、資材費がもっと高騰するかもしれないし、逆に下がることもあり得る。その時はどうなるのか。

答 リスクに対する負担に

ついては、基本的に1%程度は受注者側が負う義務がある。

施工段階において、協議していく。

問 経営振興支援対策事業補助金の具体的内容は。

答 女性認定事業者の育成事業として、耕作地が小竹町で、サツマイモを新規に始める事業者が対象である。

もう一つは、同じ認定事業者が農作物を加工して商品にし、売却をするための補助の2種類である。

問 町の職員、認定こども園、障がい者施設、高齢者施設、小学校、中学校、それぞれのコロナの現状はどうなのか。

答 令和5年1月13日現在で、職員の陽性者は5人、濃厚接触者も5人いる。

昨年9月から国が全数把握を止めているため、現状の数字は把握できていない。障がい者施設、高齢者施設からのクラスター等の報告はない。

学校の陽性者数は把握している。子どもたちの心のケア等の相談を受けるよう対応している。

問 国が積極的に推進しているマイナンバーカードを取得させるために、各行政区に向いて申請の手助けをしているが、今は、コロナ問題が一番大事ではないのか。

答 マイナンバーカードの推進と、コロナ感染予防対策と、どちらが大事かと問われれば、当然、コロナ対策が一番大事だと考えている。

コロナワクチン接種率は特別な事情がない限り100%を目標にしている。

令和4年度補正予算

一般会計 …… 913万円
*債務負担 …… 25,500万円



特別会計

国民健康保険特別会計 6,313万円
公共下水道事業特別会計 77万円
後期高齢者医療特別会計 △4万円
水道事業特別会計 収益的収入 364万円
収益的支出 637万円

*債務負担…町が債務を負担する行為を行う場合に、限度額等を明示した予算を議会の議決を経て、確保すること



そこが知りたい 一般質問

●3歳児健診における視覚検査体制の充実について

渡辺 由美子 議員



問 3歳児健診における視力検査の屈折検査機器導入について伺う。
眼鏡などを使っても、十分な視力が得られない弱視の子どもは、50人に1人いると言われており、その弱視の発見には屈折検査が有効だと言われている。
検査方法はとても簡単で、カメラで写真を撮るように検査でき、近視、遠視、乱視などの検査が1分もかからず、瞬時にできる。

屈折検査機器を導入した自治体では導入前に比べ、弱視などの疑いのある子の発見率が上がっている。
日本小児科眼科学会でも、3歳児眼科検診において視力検査と屈折検査機器による検査を推奨している。
国も令和4年度母子保健対策強化事業の一つとして、市区町村が機器を購入する場合、その経費の半分を財政支援するようになった。
小竹町においても屈折検査機器を導入し、3歳児健診における視覚検査体制整備の充実を図るべきだと思いが、町長の決意のほどは。

答 3歳児検診の内容は、保健師・栄養士等による問診・相談、身長・体重等の計測で、小児科医師による診察、歯科医師による歯科診察、尿検査、視力検査を実施している。
目の機能は、3歳頃まで急速に発達し、6歳から8歳頃までに、ほぼ完成するといふふうに言われている。

3歳児健診は、生後初めて視力を測る機会となり、この時に、目の異常を見逃してしまふと、治療が遅れ十分な視力が得られなくなる。
本町の3歳児健診における眼の検査は絵視標を用いて行う視力検査と目に関するアンケートを実施している。

絵視標による視

力検査では、目が見えているかどうかは分かるが、屈折異常や斜視等の判断はできない。
そこで、従来の視力検査方法にスポットビジョンスクリーナー等の屈折検査機器を用いた検査を併用して実施することにより、検査精度が向上し、屈折異常や斜視による弱視を適切な治療へつなぐことができる。
県内の市町村においては、令和4年10月1日現在でも60市町村のうち31の市町村で導入されており、本町としても、屈折検査機器の導入は必要であると考えている。
導入費用は、国等の補助金を活用して、導入に向け、次期町長に継いでいきたい。



そこが知りたい 一般質問

●松尾町政12年の成果について ●小竹駅周辺の開発について



和田 伸一 議員

問 松尾町長、3期12年間、誠に疲れさまでした。

まずは、蛇牟田川排水機場を造っていたいただいたこと、大雨時の不安等が少し解消できたこととを、峰畑区を代表して感謝します。松尾町政12年間の成果点について伺う。

答 政治倫理として、「信なくば立たず。」住民と信頼関係がなければ、政治は成り立たない。

そのことを肝に銘じて職責を果たしてきた。

小竹町の将来像として、「住みたい、育てたい、訪ねたい、あなたが主役、幸せ実現小竹町」この思想をもって、町政を進めてきた。3期12年の成果として、企業誘致、

協働共生のまちづくり、庄内橋の架橋等々政策を進めてきたが、まちづくりの政策に終わりはない。

いつの時代であつても、その時代、時代の政策の課題はある。歴代の町長の知恵、力、先人から受け継いできた施策を少しでも進化をさせて、次の時代につなげるため一生懸命やってきました。

問 小竹駅周辺の開発について伺う。

答 小竹町は戦中戦後、企業城下町として栄えた。

昭和44年11月に古河目尾炭鉱の閉山、用地買収を重ね、平成14年に今の立派な小竹駅ができた。平成26年から庁

舎の移転計画し、令和2年に庁舎が完成した。

そして今の西口の用地については、企業誘致の中、小竹町土地開発公社が、土地を引き取り、いよいよ西口周辺開発というところに来ていた。約53年間の小竹町における歴史を理解して、今後の西口開発を進めていってほしい。

現在は、小竹駅西口複合開発民間活力導入可能性調査を実施し、収益性にぎわいの創出、駅周辺に求められる公共サービスの提供などに民間活力を導入することの可能性について調査した。

今後は、次期町長、新議会、新体制の下に住民の意見を十分に反映させて、検討を加えていっていただきたい。

まちづくりに終着駅はなく、常に動いており、時代の流れとともに、常に過ぎていくものであると考える。重要施策として新体制の下で、ぜひともすばらしい西口開発をしていただきたい。



議長室にて花束を贈呈する
吉野 欽也 議長 (左) と
花束を受け取る松尾 勝徳 前町長 (右)



●人口増加について ●下水道の進捗状況について



良永 陽臣 議員

問 人口減少を食い止め、増加に転換するために、自衛隊官舎の活用を促進してはどうか。小竹町には自衛隊官舎がある。

答 官舎には140世帯入居可能であるが、現在では30から40世帯しか入居していない。しかも、大半が単身赴任の隊員である。自衛隊官舎担当者と話した際、小竹町の官舎へ入居を勧めているが、近くに飲食店やコンビニエンスストアがないため不便であり、入居を希望する者が少ないと聞いた。

新しく飯塚駐屯地に赴任する隊員や営舎内居住者として寮生活を行っている隊員に官舎に住んでもらうように働きかけはできないか。

答 自衛隊職員の異動に関しては転出、転入届がなされ、はじめて本町として知ることになる。官舎に入居するように町が個人に直接働きかけを行うということとは行政の枠を超えており、難しい。ただし、せっかく官舎が小竹町にあるため、官舎に入居していただきたいと考える。

まずは、自衛隊において積極的な官舎入居推進に自衛隊自身で取り組みでいただきたい。そして、その応援を町がするといふような検討を今後は自衛隊と重ねていくことを新町長に引き継いで、実績を上げるような方向で進んでもらえればと思う。



七福区の自衛隊官舎

問 本町の下水道工事の進捗状況はどうなっているのか。

答 率にして18.9%の整備率で、まだまだ少ない。おおむね5年程度で整備すると定めた事業計画区域に対する整備率は現在51.8%となっている。

本町の財政状況を考慮しながら、今後、少しでも整備を進めていきたい。

問 七福の分譲住宅を例に具体的に何年ぐらいかかるものか。

答 立地上、塩頭の交差点方向に汚水を流す計画でなければ難しい。下水道本管も現在は峰畑地区までしか来ていない。本管の延長を先に進めていかなければならない。10年はおかると思われる。

今後は地域住民の声も聞きながら、なるべく急ぐ方法があれば考えていきたい。

町全体の下水道計画の中において、最少の経費で最大の効果を上げたい。



編集後記

2022年12月11日の議員選挙で4名の新人議員が誕生して、議会広報編集委員は5名で担当していますが、3名が新人議員です。

心を新たに皆さまに愛される議会だよりとして出発していきますので宜しくお願い致します。

職員と町民の皆さまとの信頼関係を強固にするため、次の言葉を合言葉に頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。

挨拶は心を込めて
爽やかに

相手の心を開く
やさしい笑顔

相手の立場になって
考えよう

(議会広報編集委員会
委員長 良永陽臣)

議会を傍聴してみませんか



議会の傍聴は、手続きが面倒と思われることはないでしょうか。そうではありません。傍聴の手続きは、受付票に住所、氏名、年齢を記入するだけです。

議会は、予算や条例をはじめ、行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議をしています。

なお、定例会の開催予定の日が近づきましたら、役場の掲示板、

ホームページでお知らせします。

傍聴場所は、役場3階議場内傍聴席です。

また、テレビ放映による傍聴は、手続きは不要で役場1階ロビー、町総合福祉センター、中央公民館、町立病院でできます。

詳しくは、議会事務局まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

電話 62-11967

次回の定例会は、
3月2日(木)に
開会予定です。

※事情により変更される場合がありますのでご了承ください。

お詫び

2月発行の242号の表紙に、集合写真の撮影日を記載していませんでした。表紙の集合写真は令和4年12月27日に撮影したものです。訂正してお詫びいたします。

広報編集委員会